

コンビニエンスストアの  
販売に使う情報サービスに  
ついて



# 情報サービス.1 発注

発注とは、お店の商品を工場から運んでもらうサービスのこと。

注文したお店から、そのお店の本部に情報がわたり、

工場で作ったものが、発注センターに届き、

そこからお店へ届く仕組み。

発注では、注文する商品の情報や、

気候などの情報をAIに分析させて、

AIが自ら注文するという店舗もある。

# 自分が考えた未来の発注システム

店舗の中の情報をAIが自動分析し、

そのまま発注に移るといいう仕組みがいいと思った。

この仕組みだと、店員さんの仕事が増えずに済むから。

# 情報サービス.2 品揃え

自分たちが当たり前のように見ている品揃えにも、

情報を使った仕組みがあります。

例えば、今日は猛暑日とします。

暑い日には、冷たいものを買う人が多いので、

品揃えの中に、アイスなどが増えていることがあります。

その仕組みは、AIをつかって、

気温、周りの建物、日にちなどの情報を分析して、

その日にあった品揃えを AIが提案するというものです。

# 自分が考えた未来の品揃え替え

これも全部AIに任せて、  
季節や気温などを分析して  
品揃えを勝手に変えてくれるのがいいと思った。

これで終わります！

